

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	記入年月日
記入団体名	川越市女性ネットワーク	平成23年12月20日
予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>

協働事業名称	男女共同参画情報紙発行	
協働事業の概要	男女共同参画情報紙発行 発行日：(34号)9月15日、(35号)3月15日 内容：(34号)かわごえ男女共同参画プランⅣ、 市制を聞く9名の女性議員 ほか (35号)突然の災害～避難所生活で見た～女と男の 立場、女性自治会長 ほか 発行部数：各5,000部 配布対象：市民及び公共機関等	
協働事業の決算額	620,000	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年7月7日～平成24年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	5	4.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	4	3.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	3	3
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	55.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>・協働委託事業は、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われる。市が行った方がスムーズにいくこともあり、会場の確保や情報紙の取材先への連絡等、市としても事業に参加していく姿勢が必要である。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>複数の事業を含め、総合的に見て、計画どおり実施することができたことは、達成感を感じる事ができ、良かったと感じている。しかし、啓発事業に関してはサービス事業と同じ価値観で判断できない部分が多々あるので、一律のとらえ方には問題、矛盾を感じる。また、メンバー全員が「協働」の実際の意味について、未だ、ぼんやりした感を払拭できていない。</p> <p>「協働」とは、複数の主体が目標を共有し、ともに力を合わせて活動することだが、その中身、バランスにおいては様々なスタイルがあると思われる。協働型自治活動においては相互推進型の協働が最も良いとされているが、この川越市が推進している協働事業が官民のバランス(関わり)をどのように捉えているのか、今一度、確認する必要があると感じている。</p> <p>行政事業として評価があるのは仕方がないことと思うが、評価方法・仕組みについて改善を要すると思われる。事業は生き物であり、その場、その時間で体験されたことは、活字では伝えきれない内容がほとんどである。プロセス評価は、業績(成果)がでる過程(プロセス)において、どのような価値が顕在したかという視点でなされる評価で、業績(成果)評価と分けて行われるものではあるが、事業における意義や価値を判断する場合、実際の事業を全く見ずに評価を下す方法は「評価」としての意味を成さず本来的効果を得られないと考えられる。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>男女が対等な立場で社会のあらゆる分野に参画し、対等に利益を享受するとともに、責任も対等に担うという男女共同参画社会はまだまだ実現していない。そのような中で男女共同参画社会の実現に向けての啓発活動としての情報誌の発行は極めて重要な事業であると考えられます。</p> <p>情報誌の内容も適切かつタイムリーで好感が持てるものですが、配布対象の市民はどのようなポイントで決めているのか(だれに広めたいか、だれに理解されたいのか)を整理していただきたいと思います。</p>		

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	記入年月日	平成23年12月22日
記入団体名	川越市女性団体連絡協議会		

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	イーブンライフ in 川越		
協働事業の概要	○講演会「イーブンライフ in 川越」の開催 1. 開催日 平成23年11月26日(土) 2. 会場 西文化会館 3. 講師 田代大輔氏(NPO法人気象キャスターネットワーク理事) 4. 講演会テーマ 「天気予報の基本と自然災害への備え」 ～男女(みんな)で考える身近な気象のはなし～ 5. アトラクション ひまわりキッズ 6. 来場者数 210名		
協働事業の決算額	295,798 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成23年11月26日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	5	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	5	4.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	5	4.5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	3	5	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	59点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>・男女共同参画は一般市民層にとって馴染みの薄いテーマであることから、若年層や男性の参加を促進するため、敢えて「気象と自然災害への備え」をテーマとしたが、必ずしも若年層や男性の参加者は伸びなかった。 ・特に、来年度は90周年事業として規模を大きくして開催する計画であるので、更に講師やテーマを工夫し、幅広い市民層の参加を促進していきたい。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>本年は協働事業として二回目の取組だったので、運営等行政との綿密な連携により、一層協力し、充実した活動ができた。 企画・運営等の面で努力したが、来場者数の増加に繋がらなかったことに難しさを感じた。 今後の課題として一般市民の啓発・啓蒙に努力したい。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>本事業の講演会のテーマでは男女共同参画推進という目的とどのように結びつのか直ちに理解するのは困難でありますので、もっと講師の選定にあたって工夫が必要ではないかと考えます。 来場者の増加は、講演会テーマを活用して、ひまわりキッズなどのアトラクションではなく、テーマと子供が共通して学べたりする内容にすると、親子一緒に聞けたりするので、来場したくなる人たちが増えるのではないのでしょうか今後も期待しています。</p>		

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	記入年月日	
記入団体名	川越市女性ネットワーク	平成23年12月20日	
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>	

協働事業名称	男女共同参画講座		
協働事業の概要	①男女共同参画市民フォーラム 開催日：7月16日（土）13:30～15:30 会場：川越駅東口多目的ホール 内容：上映会「幸福の食卓」及びトーク 参加者数：61人（男性6人・女性55人） ②男女共同参画講座 （1）11月 5日（土） 気持ち伝わっていますか？～コミュニケーションは生きる力～ （2）11月13日（日） 被災現場における男女の立場 （3）11月19日（日） 世界を動かした女性グエン・ティ・ビン（ベトナム元副大統領） ～直接取材から見たこと～ ◎参加者数：（1）30人、（2）22人、（3）33人		
協働事業の決算額	250,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年5月27日～平成23年11月19日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	3	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	3	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	3	3.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	3	3
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	3	3
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	3	3	3
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施することができましたか。	中	4	3	3.5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	3	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	51点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 ・昨年とは異なり、随意契約で実施団体を決定できたため、市民フォーラム事業実施までの時間的な余裕ができた。 ・協働委託事業は、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われる。市が行った方がスムーズに行くこともあり、市としても事業に参加していく姿勢が必要である。
【市民活動団体等】 複数の事業を含め、総合的に見て、計画どおり実施することができたことは、達成感も感じることができ、良かったと感じている。しかし、啓発事業に関してはサービス事業と同じ価値観で判断できない部分が多々あるので、一律のとりえ方には問題、矛盾を感じる。また、メンバー全員が「協働」の実際の意味について、未だ、ぼんやりした感を払拭できていない。 「協働」とは、複数の主体が目標を共有し、ともに力を合わせて活動することだが、その中身、バランスにおいては様々なスタイルがあると思われる。協働型自治活動においては相互推進型の協働が最も良いとされているが、この川越市が推進している協働事業が官民のバランス（関わり）をどのように捉えているのか、今一度、確認する必要がある。 行政事業として評価があるのは仕方がないことと思うが、評価方法・仕組みについて改善を要すると思われる。事業は生き物であり、その場、その時間で体験されたことは、活字では伝えきれない内容がほとんどである。プロセス評価は、業績（成果）がでる過程（プロセス）において、どのような価値が顕在したかという視点でなされる評価で、業績（成果）評価と分けて行われるものもあるが、事業における意義や価値を判断する場合、実際の事業を全く見ずに評価を下す方法は「評価」としての意味を成さず本来的効果を得られないと考える。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 より多くの市民の方々に参加をしていただけるような方法を考えたほうが良いと思われる。特に男性の方にもっと積極的に参加していただきたいと考えます。せっかくの男女共同参画講座なので、行政との連携を一層図り、同じ立場の男性参加者も募れる（参加出来る）ように工夫が必要だと考えられます。		

協働事業評価シート

部課名	福祉部 子育て支援課	記入年月日	
記入団体名	NPO法人川越市子育てネットワーク	平成23年12月11日	

予算事業名	次世代育成支援対策行動計画推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-----------------	--

協働事業名称	子育て体験学習		
協働事業の概要	川越市内の中学校で、ふれあい体験、誕生学を中心とした出前講座を行う。 ○実施日時：平成23年9月14日（水）～10月25日（火）に実施 ○実施場所：市立中学校12校（霞ヶ関中、砂中、初雁中、福原中、東中、鯨井中、川越西中、名細中、大東中、山田中、大東西中、高階西中） ○実施内容： 1. 赤ちゃんとのふれあい体験及び妊婦体験 子育て中の親と赤ちゃん、妊婦とのふれあい体験及び妊婦リュックを使った妊婦体験。自分が生まれてきたことに喜びを感じてもらう。 2. 誕生学講義 自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養う。		
協働事業の決算額	350,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年7月～平成23年11月		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	69.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>当事業は、かわごえ子育てプランに位置付けられた思春期保健対策の充実を図る事業で、中学生を対象に、実際に赤ちゃんに接したり、育児の様子を聞く機会を持つことで、母性・父性の育成を支援するものである。協働による実施で、市民活動団体の持つ高い専門性を活かした効果的かつ効率的な実施を行うことができた。実施にあたり、当該市民活動団体が、中学校関係者や、ふれあい体験に参加していただく親子等に対して十分な説明を行ってくださったことで、関係者の理解を得た上で事業を進めることができたので、大きな成果が上げられたと思う。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>まずは、協働のパートナーであり、私達を信頼し、あらゆる面でサポートしていただいた子育て支援課に感謝したい。お互いのこの事業にける思いはとて強いものがあったと感じた。それだけに達成感も大きいものがあった。その達成感、単なる自己満足ではなく、赤ちゃんふれあい体験・妊婦体験を通してのちのちの重みを感じた生徒、誕生学を受けて、自分って生きているだけですごいと気付いてくれた生徒がいたことが、私達の思いが届いたと確信できたからこそ得られたものだった。</p> <p>次に、大切な赤ちゃんを連れて参加してくれた親達にも感謝したい。今年度は、昨年度よりも低年齢化し、生後1ヶ月の赤ちゃんを連れて参加してくれたママもいた。参加した親も自分にプラスになる、想像していた中学生はもっと怖くて無関心かと思っていたけど、素直でかわいかったという感想があった。</p> <p>この事業に関わった人々に効果を生み出した事業だったのではないかと感じた。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>メディアで児童虐待等の事件が報道されている中、本事業は赤ちゃんとのふれあいや妊婦体験等を通じて、生まれることの喜びと命の大切さを知ってもらうことにその目的はあると認識しています。</p> <p>参加した中学生の多くが、赤ちゃんを抱っこしたり妊婦体験をして、驚いたり感動したりと、中学生に大きなインパクトを与えたことが見て取れました。</p> <p>中学生も最初はとまどいも見られたが、だんだん顔もほころんで子どもをあやす姿、抱く姿をみて生徒は何を感じたか。ふれあい体験をして、命の尊さ、両親に対する感謝の気持ちが生まれたら素晴らしいと思います。</p> <p>中学生にとって、大変良い経験が出来たと思います。「命の大切さ」が思春期の中学生にダイレクトに伝わり、協働事業の良さが出た事業として高く評価します。</p>		

協働事業評価シート

記入団体名(部署名)	福祉部 子育て支援課	記入年月日	平成23年12月20日
記入者(職名及び氏名)	NPO法人川越子育てネットワーク		

予算事業名	次世代育成支援対策行動計画	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	---------------	--

協働事業名称	父親育児講座		
協働事業の概要	父親が育児に携わる際に役立つ、具体的に活用できる実践的な知識を提供するため、父親とその家族を対象に2日間の講座を実施した。 ○実施日時：平成23年11月6日(日)及び11月20日(日)に実施 10時から12時まで ○実施場所：中央公民館 1日目 CAP講座：子どもへの暴力防止プログラム(参加者：11世帯16人) (母子はサロン、ヘビーマッサージなど別プログラムを実施) 2日目 「子どもの可愛い写真」の撮り方講座(参加者：11世帯22人)		
協働事業の決算額	66,000	円	<small>※委託額及び補助金額を記載</small>
事業の実施期間	平成23年11月6日～平成23年11月20日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	4	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	4	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	5	5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	67.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>市民活動団体の父親スタッフが企画・実施に加わったことで、父親の目線で、具体的に育児に活用できる内容の事業を実施することができたと思う。育児に積極的な父親の参加が多く、父親同士の交流の場ともなり、有意義な事業となった。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>子育て中スタッフの企画・運営を行ったことが、今時の子育て世代に合った内容の企画が出来たと思う。母親が集えるサロンは多くあるが、父親が子連れで参加できるサロンや企画がまだまだ少なく感じる。父親同士が顔見知りになり、家族、育児について一緒に考える機会を増やすことで、地域力も高めていくことが出来るのではないかなと思う。</p> <p>また、今回のような講座をきっかけに、自分と同じような思いの父親が周りにもいる事を知り、今までよりも安心、自信を持って、育児に取り組んでいけるのではないかなと思う。「今後も企画があれば参加したい」との声も多かったので、父親向け企画のニーズが高いと感じている。</p> <p>協働事業として今回の講座を行えたことは、大変大きな成果だと感じています。今後ともお互いの特性を活かし、より良い講座を開催していきたいと思っています。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

<p>【事業に関するコメント】</p> <p>本事業は、育児中の父親に対して育児の実践的な知識の提供を意図したものです。その意図はおおむね実現していると考えられます。</p> <p>本事業の成果は、父親に単に育児の実践的な知識を提供するというより、全体として父親が子どもを連れて参加できる場が少ない中で、父親が集まって育児や家族のことについて話し合う場を提供するということにあると思います。</p> <p>最近、父親が子どもを連れてくる姿や、家族で食事をしている時も父親が母親に代わり食事をさせていたりします。また、父親同士の交流があるということはこれまでの母親まかせの時代より、一歩前進したのでしょうか。</p> <p>女性の社会進出、働く世代の減少という観点でも父親が子育てに関わる必要性はますます高まっていると思います。今後も継続して実施していただきたいと思えます。</p>
--

協働事業評価シート

部課名	福祉部 保育課	記入年月日	平成24年3月17日
記入団体名	NPO法人 川越子育てネットワーク		

予算事業名	地域子育て支援事業	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-----------	--

協働事業名称	子育て支援事業「つどいの広場」		
協働事業の概要	<p>○「連雀町つどいの広場」の運営 ○歳からおおむね3歳までの子とその親が、気軽に集い、交流を図ることで、子育ての悩みを相談したり、情報交換したりでき、互いに学び合い・助け合い・育ち合い、親子が成長する場を提供する「つどいの広場」の実施。</p> <p>場 所：川越市福祉サポート連雀町（2階） 開所日時：週5日（月～金）、午前10時から午後3時まで ※1日の利用者数 平均約20組</p> <p>（主な実施事業等） ・子育てに関する相談や支援 ・地域の子育て関連事業の提供 ・子育て支援に関する講習会の実施（絵本の読み聞かせ・手遊びの実演等）</p>		
協働事業の決算額	2,850,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年4月～平成24年3月		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	4	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	69点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 実績を活かし、「今」のニーズに対応した事業が展開できていたと思う。今後にも期待したい。
【市民活動団体等】 昨年3月に発生した東日本大震災で、計画停電等の対応が迫られ、子育てに一層の不安を感じる人も多かったと感じる。そんな中、「家に子どもと二人でいるのが不安で来ました」や「誰かと一緒にいたいので来ました」という思いで、来室する親が多く、改めて絆づくりの必要性を感じ、地域に根ざしたつどいの広場こそが、その絆づくりのお手伝いができる場所だと強く感じた一年だった。 本事業の運営は3年となり、月1回のミーティングや研修を通じ、日々を振り返ることで、スタッフもスキルアップし、支援活動に携わることができた。また、当団体の活動実績を評価され、本年度は、埼玉県福祉部少子政策課より『埼玉県地域子育て支援拠点ブロック研修』の西部ブロック代表施設に指名され、西部ブロックの子育て支援者を対象とした研修会や南西部・西部ブロック情報交換会に参画した。 今後も利用者のニーズに迅速に対応できるよう努めたい。行政側には引き続き広報面などで協力をお願いしたい。また、特に支援が必要だと思われる利用者への対応について、関係部署との連携を迅速に図っていただくよう協力してほしいと思う。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 「連雀町つどいの広場」の1日の平均利用者数が20組と、市民の子育てについての相談ニーズや関心の高さに驚かされます。そのようなニーズに応えている本事業（地域が子育て支援を行う）は有意義であり、かつ相当の成果を挙げていると評価しています。 子育てに関する相談、支援、親が気軽に集い交流を図ることができ、その場でお互いに学び助け合うといった地域に根ざした広場こそ必要であり、これから子育てをする親にとって必要なものと思われれます。 核家族化などで、子育てが「孤育て」になっていることも多く、孤立して子育てに悩む親が多い現代では、大変すばらしいモデルとなる良い事業だと思います。 今後も継続して事業が実施されることを期待します。		

協働事業評価シート

記入団体名(部署名)	環境部 環境政策課	記入年月日	平成23年11月30日
記入者(職名及び氏名)	生活クラブ生協川越支部		
予算事業名	環境基本計画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>	

協働事業名称	かわごえエコツアー事業		
協働事業の概要	川越グリーンマップ等を使用して、市内の環境スポットを見学し、市内の環境の現状やその保全の大切さを体験するバスツアーを実施。 実施日 平成23年9月21日(水) <<参加者35名>> ○パイオニア川越工場：座学及び現場見学 企業におけるエコ活動の取組みを学ぶ(再資源化の工程など) ○川越水上公園：座学(荒天のため、屋外見学はなし) 同公園の特徴、植物の説明など ※三ツ又沼ビオトープ、川越運動公園の見学については、台風接近のため中止。		
協働事業の決算額	90,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成23年7月26日 ~ 平成23年10月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	3	3
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	3	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	4	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	64.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 今回の協働事業では、団体の持つ知識や経験を活かし、効率的で安定的な事業運営ができたのではないかと考えています。さらに、協働事業の良さの一つとして、市民の目線から企画・運営がなされているという点があるかと思えます。広報などは主に行政側が担当し、よい連携がとれたものと考えております。 実施後のアンケート結果から、多くの参加者に満足していただけたものと認識しております。環境に対する関心は年々高まっているように思いますが、個人により、環境への視点や関心度は千差万別です。事業の成果をどう継続し、広げていくか、今後の課題であると考えています。</p>
<p>【市民活動団体等】 今回は、自然観察会だけでなく、参加する一般市民が接することの少ない事業者の環境に関する取り組みを取り入れる事にして企画しました。この事業者訪問は、環境ネットの会員である事業者の承認を得て、参加者には好評でした。これは参加者が女性が多いことに由来していて、家庭に入った女性は社会、事業者の動きを直接体験することが少なくなるからです。エコツアーは自然観察会と違って、川越の現状を知ると同時に協働事業的な活動に参加する人を増やす目的もあります。そのためボランティアで活動している民間団体に講師をお願いして話をして貰っています。実際に繋がっていくかどうかは不明ですが。 環境(社会、自然)は、一人一人の心がけから変わっていく物なので「気が付く人」を少しでも多くする活動の一步として続けて行きたい事業です。今回の企画は前回企画のような「川越市のエコ活動で表彰された家」やグリーンカーテンの普及事例等、視点を新たにして考えたいと思います。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 天候不良で事業の一部を中止せざるを得なかったようですが、市民の環境への関心を高めるのに本事業は大きな意味を有したものと考えています。 環境問題は、一人ひとりの心がけで変わるものなので、まず、地域そして川越の現状を見て知ることは大切なことです。多くの人に活動に参加して実際につながるよう実施日を土日などにして、子どもを含め、より多くの市民の方々に参加しやすい環境にしたほうが良いのではないかとともに思います。 民間団体とも上手に協力しており、良いモデルになると感じました。継続する方法とツアーの方向性を確立して、より良い事業になるよう応援しています。</p>		